

「選挙フェス」は終わらない —2013参院選から 新たな挑戦へ

緑の党しかないでしょ!

対談

長谷川羽衣子 × 三宅洋平

緑の党共同代表。参院選全国比例候補として挑戦。京都在住。

日本アーティスト有意識者会議(NAU)代表。参院選緑の党全国比例候補。音楽と政治の融合を試みた「選挙フェス」の映像が数十万人に視聴されてブレイク。17万票を獲得するも落選。沖縄在住。

地方自治体選挙も一緒にやりましょうね!



1 緑の党で立候補したわけ

長谷川 こんにちは。参院選お疲れさまでした。今日は初めて緑の党の総会にも参加されましたが、いかがでしたか。

三宅 いや、参加民主主義は大変ですね。でも、こんなめんどろな議論の場をコーディネートしているところが緑の党の力だし、そこが魅力だと思いますよ。

長谷川 そう言っていただけると嬉しいです。さっそくですが、三宅さんは先の参院選で、緑の党推薦の比例候補として立候補したわけですが、なぜ緑の党からの立候補を決めたのですか。

三宅 立候補の決断をした6月までの2〜3カ月の間、全国各地を巡回して資金パーティもやっていったんだよね。基本的に僕がやりたかったのは、これまで10年間ミュージシャンとして活動してきた全国の拠点をベースにして、これまで選挙に行つたこともないような人たちが巻き込んで政治意識を自覚めさせることだったんです。神奈川県選挙区で無所属で出る話もあったけど、仮に、首都圏で山本太郎さんと僕が当選しても、「こっちじゃ無理なんだよね」と、地方の人たちにはアキラメしか生まないのかなと。相当いろいろ悩んだけど、選挙後の結果を見ても、やはり全国比例区でほんとうによかったと思うよ。



2 誰かがフラッグを立てておくことが大事

長谷川 参院選後の安倍政権はひどいですね。汚染水漏れや被災者支援をないがしろにした原発再稼働や、社会保障の充実を先送りした消費税値上げ、改憲や集団的自衛権の容認、TPP参加に秘密保護法……。押し潰されそうだけど、だからこそ緑の党はがんばらなくちゃ!と。

三宅 僕は次の参院選に出ます。だけれどフラッグを立てておくことが大事だし、「落選者ナンバーワン」の

厚みもできたしね。緑の党といっしょにやることも変わらないけど、共通の大きな目的の達成に一番寄り添う方法や役割を考えたいと思っている。

長谷川 選挙は負けたいけど、緑の党への入会者は増えているんです。ここに希望があるってことです。



京都の町で街頭演説する長谷川さん。次世代の子どものために脱原発への強い想いを訴えた

3 地域からも政治を変える「1万人の立候補プロジェクト」

長谷川 緑の党は、もともと地域活動に根ざした分権的な社会や政治をめざしています。結成から1年は参院選にむけて突っ走ってききましたが、いま、2015年の統一自治体選挙に向けてプロジェクトチームが作戦会議中です。三宅さんに影響を受けた若い人たちの立候補とも連携したいですね。

三宅 「身近な立候補」って、どんな政策を掲げるより大事なことにゃないかな。政策は各地域でそれぞれに掲げればいいし、「この人、気のいいお兄さんで、みんなに人望があるんですよ」だけでよかったりするわけ。選挙後に「1万人の立候補プロジェクト」を提案しているんだけど、「マスコミからも問い合わせが来る。全国各地で、町興しとかで実績のある若い人たちが選挙に出ようという動きがあるんだけど、そんな人が「選挙に出る」ということを多くの人に周知することも大事だよ。それに

三宅 東アジアはずっと一つの「火種」にされていますよ。竹島も「尖閣諸島」も、「地球のもの」「共同管理」という国際世論をつくつてしまえるのが、緑の党の強みじゃないかな。窮屈な日本の価値観を解放するためにも、海外から勇氣やいい刺激がもたらえそうだね。

4 緑のグローバルなネットワークは希望

三宅 緑の党の世界90カ国のネットワーク(グローバルグリーンズ)ってすごい財産だし希望だよ。来年3月のフィリピンの大会にはぜひ参加したいと思っています。

長谷川 第3回のアジア太平洋緑の党連盟(APGF)の大会ですね。第1回大会は2005年に京都で開催されたんですよ。私は昨年、韓国やドイツの党大会に参加してすごくエネルギーをもらってました。

長谷川 国境をまたいだ問題ですぐ合意できるのは、国益よりも地球益を求めて国際的な連携を重視する緑の党の大きな魅力ですね。

三宅 さん、今日はありがとうございました。三宅さんの選挙フェスの最後の「憲法9条」の朗読は、9条に新しい力を与えましたよね。そんな力が、いま、とても求められていると思います。大きな目的に向かって一緒にがんばりましょう。

※グローバルグリーンズ憲章、世界90カ国にある緑の党ネットワークをつなぐ憲章。2001年に豪州で開催された第1回国政に緑の議席を!



初のネット選挙で一番の話題となった三宅さんの「選挙フェス」。タスキの代わりにギター!



総会決議

昨年12月の衆院選と7月参院選での自民党の「圧勝」を受け、安倍政権は無駄な公共土木事業を大幅に復活させる一方で、社会保障の削減・切り捨てと「一体化」した消費税を増税しようとしています。しかも、本来社会保障の財源に充てるとされた消費税をこの大型公共事業の財源とする方針です。また、派遣法の改悪やリストラを支援する「労働移動支援助成金」などで労働規制をさらに撤廃しようとしています。国内産業や環境・労働規制などを崩壊させるTPP参加にも前のめりになり、その交渉過程の情報は秘密とされたままとなっています。また、福島原発事故の深刻な汚染と被災者の困難な生活が続く中、原発の再稼働や輸出拡大も明確にしつつ、被災者の「棄民」施策が進んでいます。周辺諸国との緊張を口実に、改悪や集団的自衛権の容認に向けた布石も進めています。

自民党と対抗できる力を持った野党がほとんど存在しない「一強」体制の中、格差の拡大と貧困化が進み、経済や環境の面で持続可能性のひとかけらも無い、そして国内外の市民にとって危険で粗暴な政治の姿が一層明確になっています。

私たち緑の党は参院選で敗北しましたが、巨額の借金や環境破壊、周辺諸国との対立関係、そして核のゴミを将来の世代に残さず、誰もが生き生きと心豊かに暮らせる社会を創り上げる私たちの責任を放棄することはできません。私たちは、現在の日本の政治状況を踏まえ、党内外の市民やグループと協力・連携し、引き続き、下記の課題に積極的に取り組むことを決意します。

- ① 東電福島原発事故への抜本的な対策強化と原発再稼働の阻止
- ② 原発事故子ども・被災者支援法の具体施策の実現・拡充など、原発事故被災者への支援の強化
- ③ TPP参加への反対、環境保全型農林水産業の再生や労働・環境規制の再構築
- ④ 改憲・集団的自衛権容認への反対、対外諸国との環境保全での協力など平和外交の確立
- ⑤ 社会保障の充実なき消費増税への反対、公平でエコロジカルな税制の構築

2013年9月29日
緑の党グリーンズジャパン第2回定期総会 参加者一同

第2回 定期総会を開催

再チャレンジへスタート

9月28日と29日に、都内で緑の党第2回定期総会を開催しました。

昨年7月の結成総会から、ちょうど1年後に初挑戦した参院選の敗北を経て開催された第2回総会には、北海道から沖縄まで、全国から会員・サポーターや傍聴者など約200人が参加しました。

参院選の候補者や特別ゲストも参加
議 論の合間には、三宅洋平さんをはじめ参院選に緑の党の候補者として立候補したみなさんも全国から参加し、あいさつや近況報告などもありました。また、脱原発や脱被曝、反TPPや反憲法改正などの政策で共通する山本太郎参議院議員や阿部知子衆議院議員も駆けつけて、総会をいっそう盛り上げてくれました。初日の夜には、同会場で会員による交流会も開催。オーガニックな食事やお酒を楽しみながら歓談の輪が広がりました。

※総会の写真ドキュメントはP4に



総 会では、残念ながら国会での議席を獲得できなかった参院選に関する厳しい総括に始まり、今期の決算の承認、共同代表や全国協議会委員を選ぶ投票や、来期の活動に関する方針や予算、規約の改定などについて、熱心な議論が交わされました。
政治・組織活動方針では、重要なポイントとなる「組織運営」と「2015年統一自治体選挙」について、それぞれの取り組みイメージのプレゼンテーションも行いました。全国各地での地域からの取り組みと全国的な連携を強化していくために、2月の次期定期総会にむけて組織や規約の見直しを進めること。そして、めざす社会像を共有する広範な個人や団体との協力関係を模索しながら「統一自治体選挙キャンペーン」を展開し、党公認・推薦候補の立候補を促す「選挙スクール」を開講するための準備を始めることを確認しました。議案準備や修正案の反映、会場からの発言のあり方など、次回にむけて改善すべき運営の課題も確認されましたが、可能な限り会員が決定に参加する「参加型民主主義」の実践の場として熱心に前向きな議論が行われた総会でした。

政治・組織活動の方針

2013年参議院選挙では、議席を獲得することができず厳しい結果でした。知名度の低さ、社会への貢献不足、組織基盤のせい弱さなど課題が浮き彫りになり、一から出直す気持ちでの再スタートが必要です。一方で、単独挑戦したことにより、三宅洋平氏の新しい選挙スタイルでの広がりや多様な候補者の支援者など今後につながる新たなつながりや可能性を生み出し、緑の党の存在をアピールできました。この経験を活かし、次回勝利を得るためには、会員・サポーター・支援者の拡大を戦略的・計画的に図るだけでなく、応援する全ての人の協力が不可欠であることがより明確になりました。政策のブラッシュアップ、組織の見直し、調査能力の向上、インターネットなどを活用した発信力の強化、参加型の仕組みづくりなど、より魅力的で影響力のある緑の党の進化に全力を挙げます。以下4点の基本方針を定め、目標に向かって各種の施策を実行します。

- ① 2016年の参議院選挙挑戦に向けて、全力で取り組む。
- ② 自治体議員選挙については、緑の党の基盤を拡大するために積極的に取り組む。
- ③ 2015年夏の臨時総会において、全国比例区・選挙区、単独挑戦・連合選挙などを含め選挙方針を最終決定する。
- ④ 次期衆議院選挙については、連合を含め、さまざまな可能性を模索する。

以上の基本方針のもとで、組織運営、財政、会員・組織、政策・政治アピール、渉外、広報・宣伝、2015年統一自治体選挙、各種キャンペーンの発足、世界の緑の党との連携の9項目の方針が議決されました。

2013参院選総括

以下の項目によって反省点と成果を確認しました。

- 1 目標の最低1議席、得票率2%を達成できず**
- 2 3つの背景**
 - ① 政治的背景 / 自民党の圧勝と共産党の伸び、山本太郎氏の当選
 - ② 主体的背景 / 私たちの力量不足 基礎的組織力が小さく、広がりをつくりきれなかった
 - ③ 選挙事情的背景 / 「みどり」名称の混乱とマスコミの「諸派」報道
- 3 選挙戦術上の課題**
 - ① 「予備選挙」実施と候補者擁立
 - ② 「市民が立ち上げた新しい政党」「ドイツ緑の党との連携」は評価が分かれる
- 4 選挙における成果**
 - ① 供託金を集め「緑の党」としてデビューした
 - ② 三宅洋平氏の「選挙フェス」がブレイク
 - ③ 多彩な候補者を擁立することができ、基盤が広がった
- 5 三宅洋平氏との統一行動は成功 脱原発連合型選挙に課題は残す**
- 6 反省すべきところは反省し、今からが「緑の党」の勝負**



全文はHP参照 <http://greens.gr.jp>

初めての挑戦！ 2013参院選

初挑戦の参院選では議席を獲得することはできませんでしたが、全国のみなさんからの8620万円もの選挙カンパで「世界一高い供託金」の壁を越えることができ、45万人の方に投票していただきました。ありがとうございました！



① 全国比例区の候補者たち
② 福島原発事故の被災者が候補者に
③ 福島を忘れない！集会
④ 「選挙フェス」でアピール
⑤ ドイツ緑の党のヘーン議員と
⑥ 唯一の選挙区候補(兵庫県)
⑦ 官邸前で選挙カーからの第一声

参院選挙後に発表した見解、声明等の一覧

- 7/22 【談話】参議院選挙の結果を受けて
- 8/9 【見解】内閣法制局長官人事の撤回を
—集团的自衛権の行使ではなく、平和でエコロジカルな経済構築に向けた周辺諸国との協力を—
- 8/23 【緊急声明】いのちの海を放射能で汚さないで！
～再稼働や輸出ではなく、汚染水対策に全力投入を
- 8/27 【声明】「原発被害者の救済を求める全国運動」を成功させ、
「原発事故子ども・被災者支援法」の早期具体化と時効消失問題の解決を！
- 9/6 【談話】婚外子差別違憲の判決を受けて—多様な家族の在り方を実現する一歩に
- 9/6 【声明】シリア問題—緊急に必要なのは全ての軍事行動の停止と一般市民の保護
- 9/18 【声明】市民の安全のため必要なのは秘密保護法制定ではなく、より一層の情報公開
- 10/5 【見解】消費税率の引き上げと復興法人税廃止は、社会的公正に逆行する
- 10/7 【談話】ドイツ緑の党の選挙結果を受けて

本文はHP参照 <http://greens.gr.jp>

新たに選出されました！

全国協議会委員

☆	島崎 直美	北海道	☆	長谷川 平和	千葉県
	久保 あつこ			大野 拓夫	神奈川県
	高橋 良	宮城県		窪田 誠	山梨県
☆	蛇石 郁子	福島県	☆	松谷 清	静岡県
☆	笠原 一浩	福井県		尾形 慶子	愛知県(蒲井)
◎	八木 聡	長野県	☆	松尾 京子	大阪府
	片山 いく子	埼玉県	○	野々上 愛	
	石川 奈央	東京都		四津谷 薫	兵庫県
	田口 まゆ		☆	丸尾 牧	
	川野 孝章		☆	松本 なみほ	
	重松 朋宏		☆	井奥 雅樹	
☆	杉原 浩司		○	横田 えつこ	岡山県
○	漢人 明子			渡辺 さと子	香川県
	中村 まさ子		☆	足立 力也	福岡県
☆	郡山 昌也			歌野 礼	長崎県
☆	宮部 彰			のぐち英一郎	鹿児島県

◎ 運営委員長 ○ 副運営委員長 ☆ 運営委員

共同代表からみなさまへ

な お すぐる奈緒 東京都 前杉並区議会議員
「緑の党」結成から1年。初挑戦の国政選挙で得たたくさんの方の学びを糧にあらたなフェーズに突入します。枝葉を広げていくためには、まず幹を太くすることが必須です。これまで10年間養ってきた根を大切にしつつ、新しい発想を融合させ、みなさんと議論を重ねながらイノベーションを生み出していきたいと思っております。日本のモデルとなる参加型民主主義を体現する組織を創っていきましょう。

なかやま ひとし 中山均 新潟県 新潟市議会議員
2013年の参院選での敗北の責任と総括をしっかりと踏まえつつ、「緑」の未来へ向けてこれまで歩んできた日本と世界の仲間たちとつながりながら、この歩みを次の世代につなげていくため、引き続きしばらくの間、共同代表を務めます。公正・平和で持続可能な社会、誰もが心豊かに暮らせる社会を目指し、ひとりでも多くの方々がともに歩んで下さるようお願いします。

は せ が わ う い こ 長谷川羽衣子 京都府 NGO e-みらい構想代表
参議院選挙の反省と得た経験を生かし、緑の党をより多くの人たちに支持される政党としていくことが、共同代表としての私の責任だと考えています。2015年の統一地方選挙、そして2016年の国政選挙に向けて、地域から緑の党を活性化させるとともに、ラディカルで現実的な政策を研究・提案していきます。

こうさか まさる 高坂勝 東京都 「減速して生きる ダウンシフターズ」著者
No Green, No Life! ……コピーライターのサポーターさんから提案頂いた言葉です。「みどり」なしには「いのち」も「暮らし」もない▶緑の党がなければ未来はない▶緑の党しかないでしょ！(笑)緑の党の知名度が上がれば必ず、議席を獲り、未来を創造してゆけます。脱経済成長の緑の理念こそ、個人の幸せと社会の好循環を産む源。桃源郷の実現に向けて、一緒に歩みましょう。

世界のみどり

ドイツ緑の党・総選挙の結果を受け世代交代へ



9月22日にドイツ連邦議会選挙が実施されました。同盟90/緑の党(以下「緑の党」)は、8.4%の得票率で2009年の選挙に比べて2.7%ポイントの低下、議席数も68議席から63議席と後退しました。選挙前まで10%を超える高い支持率を得ていた緑の党は、エネルギーシフトの推進だけでなく、環境負荷の低減とアンチ工場式畜産を訴えるため、週に1日は菜食の日を設ける「ベジ・デイ」の導入など、緑らしくチャレンジ精神に溢れた提案も行ってきました。また、経済格差を是正するための最低賃金制度の導入や、高所得層を中心とした所得税の増税策も打ち出していました。この連邦議会選挙の敗北を受け、党首クラウディア・ロー

トとジェム・オズデミル、そして筆頭候補者であったカトリン・ゲーリング=エックハルトとユルゲン・トリティーンは、徹底した選挙分析と総括を行っていくと同時に、執行部の世代交代を図ることにしました。党大会を10月18日から20日までベルリンで開催し、共同代表を含む6名の理事と16名の政党執行部役員を新たに選出しました。結党から約30年にわたって緑の党を牽引してきた60歳近いベテランの看板政治家が第一線を退くことに不安の声もありますが、40代の議員も力をつけてきており、今回の敗北を世代交代のチャンスと捉えて、今後はこれらの若い緑の議員がエコロジーと持続可能な社会の実現に責任をもって取り組むことが期待されています。

ノルウェーとオーストリア緑の党が議席増へ！



9月に行われたノルウェーとオーストリアの総選挙で、緑の党が得票率を伸ばして議席を増やしました。気候変動、石油依存からのエネルギー転換などが争点になったノルウェーでは初の1議席を獲得。オーストリア緑の党は、官僚による汚職問題を追及し、行政の透明性を訴えて過去最高の12.4%を得票。4議席を増やして24議席の第4党になりました。現在、世界90カ国にある緑の党の国会での議席数は、ドイツ緑の党の63議席(第4党)を入れて308議席に達しています。

緑の党 定期総会ドキュメント



①全国各地から約200人が参加 ②参院選の候補者たちが再結集 ③ドイツ緑の党の組織を紹介 ④議案に対する賛否を表明 ⑤議長団がルールを説明 ⑥休憩時間にイベントのアピール ⑦全国協議委員から議案の説明 ⑧交流会、ビールを片手に談笑 ⑨共同代表からのあいさつ ⑩映画を紹介する山本太郎さん ⑪福島から金沢に避難中のご夫婦も ⑫閉会式で語る三宅洋平さん ⑬阿部知子さんを囲んで ⑭交流会で話はずむ ⑮議事を進める議長

国政における環境政党の誕生を願う



緑の党グリーンズジャパン
第2回定期総会の開催、
誠におめでとうございます。日本の国政
における環境政党の誕生を願う者にとっ
て、先の参議院議員選挙は大変厳しい結
果に終わったと思っています。有権者・
国民の間には脱原発を求める深く広い
声がありながら、選挙制度の制約等もあ
り、なかなか現実の議席や党の形成に結
びつけられないこと、自らの非力も含め
て今後の大きな課題と認識しています。

阿部知子さん
衆議院議員

国民の願いを政治の中で形にすべく、
より緩やかに、かつ広がりを持った人々
の連携が可能となるよう、私も精一杯努
力を重ねて参ります。緑の党グリーンズ
ジャパンの今後のご発展とご活躍に、期
待しています。

この切り捨ての社会を変えられるのか？



山本太郎さん
参議院議員

僕たちの大きな目的は、「どうやれば、
この(弱者)切り捨ての社会を変えられる
のか?」みんなで、この世の中を変える
ために一緒にやっていきましょう!

も、国会では野党勢力が相当減ってしま
いました。秋の国会で、このままだと二番
やばい法案。秘密保護法が通っちゃいま
すよね。だから、ひとりでも多くの人に
この反対運動に参加してもらわなくちゃ
いけないんです。
これが通ると脱原発も反TPPも言
えなくなる。こういう総会なんかも対象
になるのでは? だから全国キャラバンを
やっていきます。皆さんが、地元の国会議
員に「秘密保護法に反対」「賛成したら
次の選挙は応援できません」とメールや
FAXで伝えて下さい。

ゲストからの メッセージ

「秘密保護法」に対する反対キャンペーンで9月から全国を街宣で走り回ってきた
参議院議員の山本太郎さん、与野党の超党派国会議員で福島原発の汚染水現場の視
察に行くなど勢力的に活動している「原発ゼロの会」事務局を務める衆議院議員の
阿部知子さん、そして三宅洋平さんが駆けつけ、熱いメッセージをいただきました。

緑の党 <http://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

引っ越しました!

新住所(電話とFAX番号も変わりました) 〒166-0002
東京都杉並区高円寺北2-3-4 高円寺ビル601
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3223-0080

カンパにご協力を!

城南信用金庫 高円寺支店(店番号036) 普通預金
口座番号:340392 名称:緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行

口座番号:00100-9-262967 名称:緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名:〇一九(ゼロイチキュウ) 口座番号:262967

ハートがつながっているから、一緒に頑張っていく!



三宅洋平さん
N.A.U.代表

あと、反TPPの大規模なデ
モを考えています。「選挙フェス」
のあとは「大デモ」ということ
で日本のデモのあり方を提示し
てみたい。権力側に対して、市民
の「いつも従順だと思っよな」と
いう群衆の意思表示としてのデ
モを呼びかけます!

代表に!とも言われていますが、
自分の感性を大事にしたい。
どんな運動も政治活動も「ど
ういう世界にしたいか」という大
きな目的を忘れてはいけないと
思う。自分が緑の党に入ること
がベストならそうするだろうし、
緑の党と僕がお互いの個性を共
有しながら並走する方がより大
きな力になるのであれば、その
ほうが良いと思う。いずれにし
ても、ハートがすぐつながってい
るから一緒に頑張っていくことは
変わりません。

熱心な会員の方など
から緑の党の共同